

那覇市長 宛

令和 8 年 9 月 16 日

団体名 特定非営利活動法人 あごらびあ

代表者 久保田 誠

担当者 田中 啓太

「なは市民活動支援事業」

中間報告書

令和8年6月11日付け、那覇市指令市ま第1149号で交付決定の通知を受けた当該事業について、現時点での進捗を下記のとおり報告します。また、市ホームページへの掲載を承認し、中間報告会で他団体とも内容を共有します。

1.事業名	駄菓子屋大作戦	
2.実施内容	・7月6日～ :バリアフリー工事着工 ・7月7日 :ほのぼの通信(活動報告書)発行開始 ・7月24日 :法人内交流会にて地域活動拠点【よりみん】と協働 ・7月27日～ :駄菓子屋プレオープン ・7月27日 :食事交流会 ・8月3日～ :本格稼働 夏休み期間とし 平日13:00～18:00まで営業 ・8月31日 :食事交流会 ・9月～ :夏休み期間終了とともに営業時間を15:00～18:00に変更	
3.事業を一言で表現すると	駄菓子屋の運営をすることで 地域(まち)の人たちがゆるやかにつながれる、拠点づくりをする。	
4.これまでの活動の振り返り	【良かった点】 バリアフリー工事の遅延により営業開始は予定より遅れたものの、オープン当初より地域の子どもたちが継続的に来訪している。 また、近隣のI型地域活動支援センターからも多数の利用者が駄菓子の購入に訪れており、大きな成果となった。 さらに、毎月末に利用者・職員・地域住民らが参加する食事会「不眠研究所」を開催し、非常に有意義な交流の機会となった。	【改善点・今後につなげる点】 一方で、当初の想定に対して全体の集客数は伸び悩んでおり、交流室の活用も月1回程度にとどまっている。また、障害当事者の運営参加や、協力団体・地域との協働も現状では不十分であるため、今後はこれらの一層の推進を図りたい。 今後はハロウィンやクリスマス等の季節イベントの実施、および同助成を受ける他団体との連携強化を通じて、協力関係の構築と利用促進を目指す。
5.今後の活動予定 (事業期間内又はすでに終了した団体については次の予定)	(何をいつ実施するか、対象者や実施場所、など) 毎月末:食事交流会(不眠研究所) 参加料はテーマに沿った食材 誰でも参加可能 10月末:ハロウィンイベント ほのぼの広場だけではなく、地域の他事業所と協力し子どもたちが駄菓子を貰いに地域を巡る。 12月末:クリスマスイベント 詳細は未定であるが 子どもを対象としたプレゼント交換会などを検討 2027年1月:新年のイベント 書初めや餅つきなど 時期は未定であるが、交流室を活用しより地域とのつながりを深めたい	

6.活動写真
(簡単な説明文を記入)



(駄菓子屋の様子)

特定非営利活動法人あごらびあ
首里チーム(あごら・にじいろ) presents

味噌玉を作ろう

当日はオープンマイク、試食や味噌玉のお土産もあります！

日時：2026年7月24日(金)
15時から17時頃(14時45分開場)
場所：儀保町民会館(那覇市儀保町4-65)

協力：島おから味噌工房・よりみん、学生ボランティア、他

第9回あびあパーティー

立派な盛り付けと、お土産の味噌玉、お楽しみください。

味噌玉の作りかた、お楽しみください。

(法人内交流会でよりみんと協働)



(食事交流会)

創刊号 2025年7月

ほのぼの通信

駄菓子屋大作戦、ついにはじまる

お手伝い、大募集！

6月の実績

駄菓子屋客数 0名 営業日数 0日
交流空間利用客数 0名 参加利用客数 0名

7月の予定

トイレットのバリアフリー工事
・オープン準備(商品購入・清掃)
・ほのぼののオープン準備
・オープン！・夏休み期間スタート

(ほのぼの通信 活動報告書)

7.今回の達成目標
(当初の事業計画書に記載した目標)

- ・駄菓子屋利用人数:1日平均20人
- ・ほのぼのヒロバ(フリースペース)利用人数:1日平均5人
- ・障がい当事者の駄菓子屋運営参加:1営業日1人

8.現時点の目標達成度
(例:60%達成)

・駄菓子屋利用人数:1日平均7人 達成率35%
交流スペース・当事者の運営参加実績なし